

# 掛川市DX人材育成計画 -概要版-

令和6年3月1日



# 掛川市が目指す姿

## 1. 現状と計画策定の背景

### 掛川市役所の目指す姿

#### 未来に向けて誰もがつながるまち

- ✓ デジタル活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な人の幸せ(Well-being)が実現できる
- ✓ 「人、モノ、コト、情報」をつないでいくことで、「ともにチャレンジ(共創)」しやすい環境をつくる

### 目指す姿を実現するために

「行政のDX」推進により、職員力を最大限に引き出し、「まちのDX」につなげることが重要  
DX推進のための人材育成が急務であり、その計画を「掛川市DX人材育成計画」として策定

## 2. 計画の骨子

### 全職員

#### 【目標とする人材像】

ITツールを使いこなし、業務をどうやったらDXできるか考えることができる人材

#### 【現在のレベル測定】

全職員を対象にした、DXリテラシー測定のためのアンケート

#### 【育成の方針】

アンケート結果に基づいて、e-ラーニングによる学習

### DXリーダー (各部門から選抜/約100名)

DXアイデアを創造し、現場での業務改革を推進し、他のメンバーを巻き込んでいく人材

DXリーダーとしての基礎力を測定するためのアセスメント

e-ラーニングに加えて、集合研修で実践力の向上



# 育成施策

## 3. 全職員向けの施策

「掛川市DXリテラシー」を設定し、全職員が年一度のセルフチェックでスキルレベルを可視化。個人と組織のDXスキルアップを図ります。

【全職員アンケート結果について】

分類	スキル	平均点	LV1	LV2	LV3
<全職員向け> DXマインド	自分ごと化	11.6	505	125	42
	情報収集力	9.6	614	42	16
	学習意欲	8.4	642	24	6
	チャレンジ精神	9.8	582	68	22
<全職員向け> ITスキル	データ活用力	10.4	557	97	18
	IT基礎力	9.5	586	57	29
	ソフトウェア活用力	11.9	452	145	75
	新技術活用力	7.8	646	20	6
合計	トータルスコア	79.1	619	39	14
	パーセンテージ		92.1%	5.8%	2.1%
令和7年度終了時の目標値			50%	40%	10%

DXマインドとITスキルの2軸で自身の強み弱みを確認。  
レベルごとにeラーニングコンテンツを設定し、自身のレベルに合わせた学習を実施。

## 4. DXリーダー向けの施策

アセスメントとeラーニングで知識を固め、実践型の研修により業務で活用できるスキルを習得したDXリーダー100人の育成を目指します。

### DXリーダーアセスメントの受験

DXリーダーとしての最低限の知識習得状況を定量的に確認する。

自分ごと化	情報収集力	学習意欲	チャレンジ精神
データ活用力	IT基礎力	ソフトウェア活用力	新技術活用力

### DXリーダー令和6年度学習内容

DXリーダーとしての生成AIのような新しい技術を使いこなし、市民や、同僚の話を聞き、新しいアイデアを創出する。

アイデア創出	デザイン思考	生成AI活用
--------	--------	--------

### DXリーダー令和7年度学習内容

現在の業務を共通仕様で可視化して、部分最適ではない業務の改善計画とプロジェクト化ができる人材。

Excel実践	業務改善	要求定義/PM
---------	------	---------

研修で学んだ知識、スキルを活かして、**実際に業務改革を実現するためのアイデアを形にするために**、現場でのDX推進の中核となる人材を各部署に育成。



# 継続的なDX推進へ

## 5. 継続的DX推進に向けた取り組み

### 人事制度と連携し評価に活用

#### 能力評価への反映

- ①論理的思考
  - ②知識・技能
  - ③チャレンジ精神
- にスキルマップの内容を反映

※スキルマップ…掛川市職員に求められるDXリテラシーの具体的なスキルをまとめたマップ

例：一般職の人事評価 能力評価票抜粋

(6) 知識・技能	S	<p>○資料作成や企画、説明において、専門知識・技術を活用している</p> <p>○相手から引き出したい返事や成果を想定し、それに合わせた説明が</p> <p>○業務時間内に完了させるといった認識のもと、優先順位を適切に管理</p> <p>○事務執行における担当者の積み上げ（コツ、チェックポイント、改</p> <p>○指示等を受けた際、その目的と期限、成果イメージを確認し、効果</p> <p>○自らの完成イメージの5割程度で上司に共有し、フィードバックを（中略）</p> <p><b>■DX推進に活用できる補助金や助成金について詳しく知っている。</b></p> <p><b>■Excel等を用いて庁内のデータを組み合わせるなどして分析し、活用することができる。</b></p> <p><b>■RPAでできることを理解し、自身の業務の中で実際に活用し、業務改善につなげることができる。</b></p>	スキルマップ「情報収集力」 LV3から抜粋
	a	<p>○研修参加や自己啓発等により、積極的に知識・技術の習得と向上に努めている。</p> <p>○日目標、週間目標、月間目標を定めた工程管理表や、To do リスト</p> <p>○報連相の際、「結論から話す」「どうしてほしいのか明確にする」</p> <p>○タスク管理上達成が困難であるときは、事前に上司に相談している</p> <p>○マニュアルを作成して後任者や他係員でも仕事ができるよう整備す</p> <p>○ICTなどの知識・技術を活用したり、集中する時間を作ったりする</p> <p>○限られた時間内で、抜け漏れがないようセルフチェックし、手戻り（中略）</p> <p><b>■ITパスポートなどの基礎的なITスキルの習得をしようとしている。</b></p> <p><b>■AI、IoT、ビッグデータ、クラウド技術によってもたらされた新たなサービスや提供価値について理解し、自業務に活かすことができる。</b></p>	スキルマップ「学習意欲」 LV2から抜粋
	b	<p>△ワードやエクセルの基本的な操作を知らず、通常業務に支障をきた</p> <p>△業務に必要な法令や担当業務の基礎知識・技能が不足しがちであ</p> <p>△自らの抱えている業務状況を理解できていないため、報連相が不足</p> <p>△セルフチェックを怠り、ミスが多く修正作業が生じていること、（中略）</p> <p><b>■DXの言葉の定義、ITとの違いを自分の言葉で説明できず、日常業務において意識していない。</b></p> <p><b>■PCやインターネットに関する基礎知識がなく、PCトラブル時の原因を自身で考えることができないことが多い。</b></p>	スキルマップ「自分ごと化」 LV1から反転して抜粋

### 目指す姿を実現するために

#### DXリーダーコミュニティ

研修受講中、受講後もDXリーダーが情報交換ができるコミュニティを作成します。

#### 研修後の実践

DX推進の風土を醸成するために、様々な活動を実施していきます。

#### DXリーダーコミュニティ

- 研修受講者をコミュニティ化することで、悩みや困りごとを共有
- 違うスキルを持った人に解決方法を相談することが可能
- 組織を横断したコミュニティ形成によりDX推進の風土醸成
- DX推進活動における孤独感の排除

#### 継続的施策

- コミュニティ内での定期的なDX関連情報発信
- ノーコード開発の社内勉強会の実施
- ChatGPTプロンプトの共有
- DX推進の優れた取り組みの表彰

「学び」だけで終わらせず、実践に繋げるために、全庁で継続したDX推進活動を実施します。

